

## 相楽東部広域バスの令和 6 年度運行計画について

**協議事項：**下記方針（案）に基づき運行ダイヤ見直しの具体化を進めてよいか。  
ダイヤ見直し時期はバス年度を考慮し令和 6 年 10 月 1 日からとしてよいか。  
ダイヤ見直しに伴い運行経費が増加する場合は協議会繰越金を活用してよいか。

**方針（案）：**バス停については現行を継続。運行ダイヤについては昼間の需要が少ない便を廃止の上、朝夕の需要が高い便に集約する。

### （バス停に係る検討）

個々のバス停について町村毎に評価し検討。特に地域公共交通計画に掲げる「利用者が著しく減少、または利用実績のないバス停の廃止による運行時間の短縮」及び「利用が見込まれる区間へのバス停の開設や JR 木津駅への延伸」については以下のとおり検討。

#### ○木屋

和東町で唯一国道 163 号線に面する地区であり、相楽東部広域バスが唯一の公共交通機関であるため、バス停の継続は必須。

#### ○南大河原会館

近くに大河原駅があり、2 名程度の継続利用者がいる。

#### ○笠置会館

利用が見込まれる新規バス停の開設という事でご提案をいただいていたバス停。

無料の笠置町循環バスを利用することにより笠置駅等への結節が可能であるバス停。循環バス利用実績からは周辺住民のニーズとして郵便局等の町内ニーズが多かった。

施設利用者へのアンケートや、循環バス運転手への聞き取り等も行ったが、町村間をまたいだニーズが確認できなかった。

以上のことも踏まえ、笠置町循環バスとのサービス重複や、広域バスの運行時間の延長等のサービス水準低下を防ぐ意味でも開設の必要はないのではと考える。

#### ○南山城村への新設バス停

JR 関西本線、広域バス、村タクにより現在の移動需要はカバーできると考えており、交通サービスの重複を避ける意味でもバス停新設の必要はないのではと考える。

#### ○木津駅への延伸

加茂駅と木津駅間のタクシー事業者の顧客を奪う事や、木津川市のコミュニティバスと競合するといった課題があるため実現は難しい。引き続き今後の動向に注目し、協議を行っていく予定。

以上のことから、バス停の新設、廃止はせず、現行のバス停を継続することとしてはどうかと考える。

### (運行ダイヤに係る検討)

昨年3月から実証実験を行った朝夕便の追加運行については、予算の関係で9月末をもって終了したが、9月に実施したOD調査（職員乗車による聞き取り）の結果を見ると、主に想定していた高齢者による昼間の買い物や通院の需要よりも、早朝・夕方の通勤移動に関する需要が大きく、昼間の利用については村タク等のほかサービスに移行していることが見えてきた。

以上のことから、昼間の需要が少ない便を廃止し、朝夕の需要が高い便に集約することとしてはどうか考える。

なお、朝夕に運行を集約した場合はバス運転手の途中交代が必要となり、昼間の運行を取りやめたとしても全体としての運行経費は増加する可能性があるが、この経費についてはダイヤ見直しの検証費用として、協議会の繰越金を活用することとしてはどうかと考える。

# 相楽東部広域バス 運行経路検討

資料3-2  
議題第3号



## ◆令和5年4月1日以降の乗降者数（4月～12月毎日運行、朝夕便含む）

⑮加茂駅西口		⑭木屋		⑫笠置駅		⑪笠置大橋北詰 笠置町役場前		⑩有市口		⑨下有市		⑧上有市		⑦大河原駅前		⑥南山城村役場		④押原		②道の駅		①月ヶ瀬口駅	
乗車数	1,110	乗車数	77	乗車数	132	乗車数	66	乗車数	79	乗車数	64	乗車数	158	乗車数	162	乗車数	187	乗車数	14	乗車数	172	乗車数	156
降車数	1,386	降車数	22	降車数	296	降車数	65	降車数	55	降車数	22	降車数	96	降車数	53	降車数	229	降車数	37	降車数	101	降車数	94
計	2,496	計	99	計	428	計	131	計	134	計	86	計	254	計	215	計	416	計	51	計	273	計	250
月平均	277	月平均	11	月平均	48	月平均	15	月平均	15	月平均	10	月平均	28	月平均	24	月平均	46	月平均	6	月平均	30	月平均	28

⑬笠置いこいの館		笠置会館		⑤南大河原会館前		③月ヶ瀬コータウン	
乗車数	263	乗車数		乗車数	57	乗車数	403
降車数	125	降車数		降車数	59	降車数	460
計	388	計		計	116	計	863
月平均	43	月平均		月平均	13	月平均	96

## ◆バス停ごとの評価

バス停名	評価	バス停名	評価	バス停名	評価
① 月ヶ瀬口駅	駅との結節点であり、道の駅を鉄道利用する利用者や、隣県である奈良県の月ヶ瀬梅林の利用者が季節的に利用されている。	⑥ 南山城村役場	乗降者数は多い。職員や来訪者の利用、図書室や郵便局、JA等の施設が密集していることから利用者は多い。	⑪ 笠置大橋北詰 笠置町役場前	乗降者数は少ないが、幹線ルート上にある。 笠置町役場という重要拠点が存在する。
② 道の駅	道の駅利用者も含め、経常的な利用者が多い。	⑦ 大河原駅前	乗降者数は多くはないが、駅、村タクとの結節点であり、村タクとの併用利用が多く見受けられる。	⑫ 笠置駅	乗降者数は多く、駅との結節点である。
③ 月ヶ瀬コータウン	村域の人口1/3が住む地域性や高齢女性でかつ免許不保持の方が多いなど利用者特性として頻りに利用されている。	⑧ 上有市	幹線ルート上にある。	⑬ 笠置いこいの館	支線であるが、乗降者数は多い。 付近につむぎてらす、医院があることもあり、ニーズは高い。
④ 押原	乗降者数は少ないが、幹線ルート上にある。	⑨ 下有市	乗降者数は少ないが、幹線ルート上にある。	⑭ 木屋	乗降者数は少ないが、幹線ルート上にある。 また和束町で唯一R163に面する区であり相楽東部広域バスが唯一の公共交通機関であるため、乗降客数が少なくてもバス停設置は必要。
⑤ 南大河原会館前	支線であり、乗降者数も少ないが、継続的な利用者が2名程度利用されている。	⑩ 有市口	乗降者数は少ないが、幹線ルート上にある。	⑮ 加茂駅西口	乗降者数は多く、駅との結節点である。
		笠置会館	笠置会館、周辺住民への聞き取りの結果、町内移動のニーズは多少確認できたものの、笠置会館から町村間をまたいだ移動のニーズは確認できなかった。	木津駅	木津川市へのヒアリング協議の結果、実現は難しい。引き続き木津川市の動向に注目して協議を行っていききたい。

## 各便毎の平均利用人数表

### 【相楽東部広域バスの状況】フィーダー申請ベース

- ・平成29年10月～平成30年9月 1.043人/便 (1,716人、1,645便)
  - ・平成30年10月～令和元年9月 0.842人/便 (1,388人、1,648便)
  - ・令和元年10月～令和2年9月 0.861人/便 (1,419人、1,648便)
  - ・令和2年10月～令和3年9月 1.079人/便 (1,761人、1,632便)
  - ・令和3年10月～令和4年9月 0.932人/便 (1,528人、1,640便)
  - ・令和4年10月～令和5年9月 1.020人/便 (1,681人、1,648便)
  - ・令和5年10月～令和5年12月 0.990人/便 (396人、400便)
- ※令和5年3月以降の「毎日運行(火・木・日) + 朝夕追加便は除外

### ・各便の平均利用人数 (人/便) ※月水金土のみ

	H29.10～H30.9	H30.10～R元.9	R元.10～R2.9	R2.10～R3.9	R3.10～R4.9	R4.10～R5.9	R5.10～R5.12
朝① 月ヶ瀬発 (6:00)	-	-	-	-	-	1.919	-
朝② 加茂駅発 (6:55)	-	-	-	-	-	0.130	-
① 月ヶ瀬発 (8:15)	1.828	1.549	1.411	1.716	1.566	1.888	2.020
② 加茂駅発 (9:15)	0.593	0.267	0.696	1.049	1.073	0.461	0.620
③ 月ヶ瀬発 (10:15)	0.937	0.985	0.942	0.956	1.093	1.646	1.880
④ 加茂駅発 (11:15)	0.946	0.908	1.010	1.725	1.527	1.558	1.100
⑤ 月ヶ瀬発 (13:40)	0.752	0.636	0.507	0.74	0.673	0.689	0.460
⑥ 加茂駅発 (14:40)	1.544	1.306	1.198	1.309	0.702	0.811	0.860
⑦ 月ヶ瀬発 (15:40)	0.811	0.354	0.420	0.534	0.395	0.330	0.460
⑧ 加茂駅発 (16:40)	0.947	0.733	0.671	0.603	0.424	0.777	0.520
夕① 月ヶ瀬発 (17:50)	-	-	-	-	-	0.358	-
夕② 加茂駅発 (18:50)	-	-	-	-	-	1.715	-
合計平均	1.043	0.842	0.861	1.079	0.932	1.020(注)	0.990

(注)朝夕除く

### ・曜日別利用人数 (人/便)

	H29.10～H30.9	H30.10～R元.9	R元.10～R2.9	R2.10～R3.9	R3.10～R4.9	R4.10～R5.9	R5.10～R5.12
月	1.140	0.940	0.956	1.055	0.944	0.875	0.837
火	-	-	-	-	-	1.063	1.375
水	1.220	0.820	0.913	1.409	1.311	1.276	1.135
木	-	-	-	-	-	1.027	1.106
金	1.100	0.850	0.922	0.998	0.774	0.995	1.219
土	0.740	0.760	0.656	0.850	0.701	0.930	0.771
日	-	-	-	-	-	0.533	0.788
合計平均	1.043	0.842	0.861	1.079	0.932	1.020(注)	0.990(注)

(注)月水金土のみ (注)月水金土のみ

### ・1日平均乗車人員の推移(令和3年京都府統計書)

#### J R 関西本線 (人/日)

	H29	H30	R元	R2	R3
木津	4,674	4,767	4,995	4,241	4,488
加茂	2,296	2,263	2,214	1,756	1,762
笠置	219	200	186	134	126
大河原	52	44	38	30	36
月ヶ瀬口	164	137	115	93	101
府域計	7,434	7,441	7,548	6,256	6,513

**相楽東部広域バスの利用状況に関する  
アンケート調査  
(OD調査)**

**集計結果**

**令和5年9月**

# 目次

<b>I. 調査の実施概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査項目	1
4. 調査票の配布・回収の状況	1
<b>II. 調査結果</b>	<b>2</b>
1. 相楽東部広域バス	2

# I. 調査の実施概要

---

## 1. 調査の目的

相楽東部広域バスにおいて、調査票受取時のバスの利用状況、普段のバスの利用状況を把握し、利用者増に向けた停留所の見直しやダイヤ改正等を検討する上での基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の設計

■調査対象 相楽東部広域バスの利用者

■調査日

対象路線	調査日数	調査日
相楽東部広域バス	7日間	令和5年9月4日（月）～10日（日）

## 3. 調査項目

- 調査票受取時のバスの利用について
- 普段のバス利用について
- 回答者属性

## 4. 調査票の配布・回収の状況

表 回答件数

	調査日	回収数(件)
相楽東部広域バス	9月4日（月）	19
	5日（火）	15
	6日（水）	20
	7日（木）	13
	8日（金）	21
	9日（土）	10
	10日（日）	11
	計	109

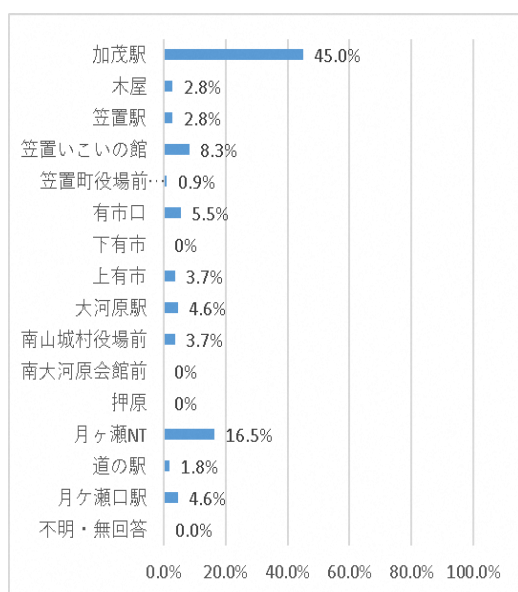
## II. 調査結果

### 1. 相楽東部広域バス

#### I この調査票を受け取った時に「相楽東部広域バス」のご利用について

##### 1. 乗車した停留所（1つに○）

○乗車した停留所は「加茂駅」が45.0%で最も多く、以下「月ヶ瀬NT」（16.5%）、「笠置いこいの館」（8.3%）となっている。

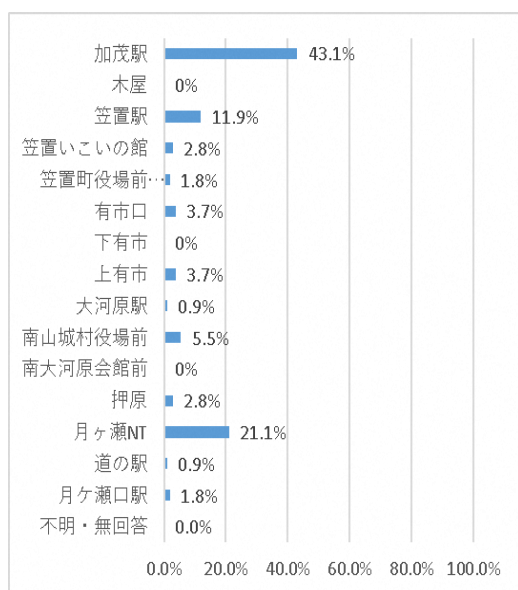


乗車停留所	回答数	割合
1 加茂駅	49	45.0%
2 木屋	3	2.8%
3 笠置駅	3	2.8%
4 笠置いこいの館	9	8.3%
5 笠置町役場前 笠置大橋北詰	1	0.9%
6 有市口	6	5.5%
7 下有市	0	0%
8 上有市	4	3.7%
9 大河原駅	5	4.6%
10 南山城村役場前	4	3.7%
11 南大河原会館前	0	0%
12 押原	0	0%
13 月ヶ瀬NT	18	16.5%
14 道の駅	2	1.8%
15 月ヶ瀬口駅	5	4.6%
不明・無回答	0	0.0%
合計	109	100%

図 乗車した停留所

##### 2. 降りる停留所（1つに○）

○降りる停留所は、「加茂駅」が43.1%で最も多く、以下「月ヶ瀬NT」（21.1%）、「笠置駅」（11.9%）となっている。



降りる停留所	回答数	割合
1 加茂駅	47	43.1%
2 木屋	0	0%
3 笠置駅	13	11.9%
4 笠置いこいの館	3	2.8%
5 笠置町役場前 笠置大橋北詰	2	1.8%
6 有市口	4	3.7%
7 下有市	0	0%
8 上有市	4	3.7%
9 大河原駅	1	0.9%
10 南山城村役場前	6	5.5%
11 南大河原会館前	0	0%
12 押原	3	2.8%
13 月ヶ瀬NT	23	21.1%
14 道の駅	1	0.9%
15 月ヶ瀬口駅	2	1.8%
不明・無回答	0	0.0%
合計	109	100%

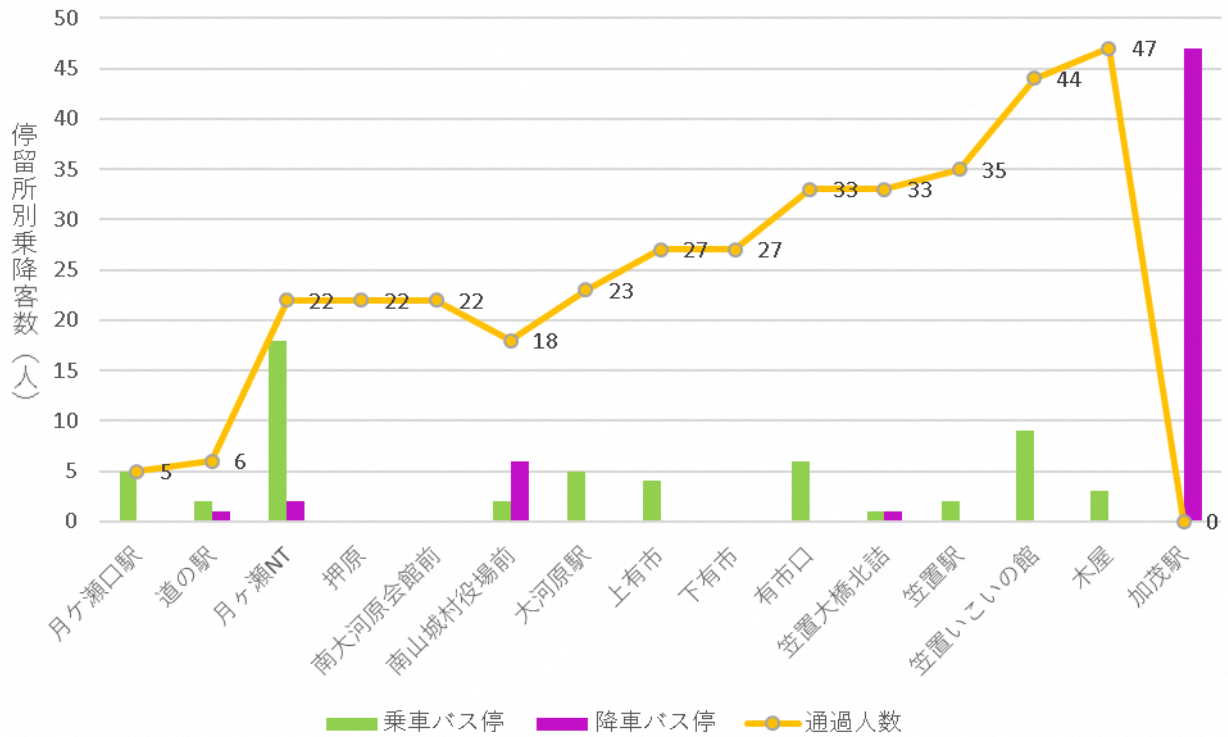
図 降りる停留所



表 乗降バス停

乗車バス停	降車バス停	回答数	割合
加茂駅	月ヶ瀬NT	18	16.5%
加茂駅	笠置駅	13	11.9%
月ヶ瀬NT	加茂駅	12	11.0%
笠置いこいの館	加茂駅	9	8.3%
月ヶ瀬NT	南山城村役場前	6	5.5%
有市口	加茂駅	6	5.5%
加茂駅	有市口	4	3.7%
加茂駅	上有市	4	3.7%
上有市	加茂駅	4	3.7%
大河原駅	加茂駅	4	3.7%
加茂駅	笠置いこいの館	3	2.8%
加茂駅	押原	3	2.8%
木屋	加茂駅	3	2.8%
月ヶ瀬口駅	加茂駅	3	2.8%
加茂駅	月ヶ瀬口駅	2	1.8%
笠置駅	加茂駅	2	1.8%
南山城村役場前	加茂駅	2	1.8%
南山城村役場前	月ヶ瀬NT	2	1.8%
加茂駅	笠置町役場	1	0.9%
加茂駅	大河原駅	1	0.9%
笠置駅	月ヶ瀬NT	1	0.9%
笠置大橋北詰	加茂駅	1	0.9%
大河原駅	笠置大橋北詰	1	0.9%
道の駅	加茂駅	1	0.9%
道の駅	月ヶ瀬NT	1	0.9%
月ヶ瀬口駅	道の駅	1	0.9%
月ヶ瀬口駅	月ヶ瀬NT	1	0.9%
合計		109	100.0%

相楽東部広域バス（月ヶ瀬口駅→加茂駅）



相楽東部広域バス（加茂駅→月ヶ瀬口駅）

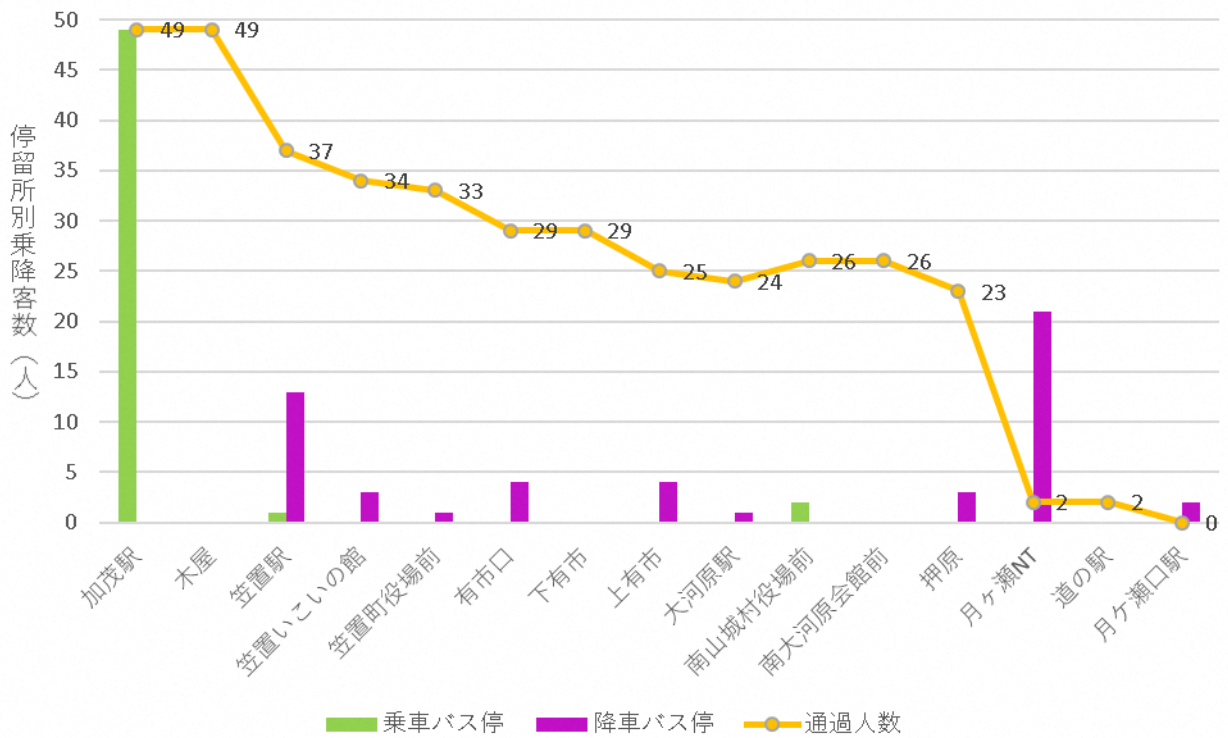
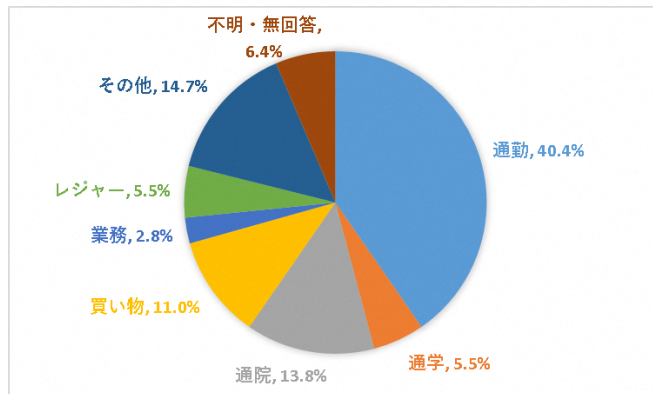


図 乗降者数と通過人数

### 3. お出かけの主な目的 (1つに○)

○お出かけの主な目的は「その他」を除くと「通勤」が40.4%で最も多く、次いで「通院」(13.8%)、「買い物」(11.0%)となっている。「その他」の主な内訳は、「帰省」(6件)、「友人と会う」(3件)、「同窓会」(2件)、「役場へ手続き」(2件)となっている。



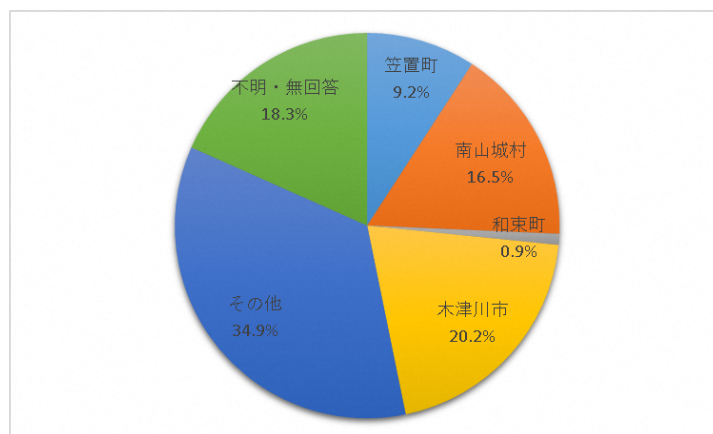
目的	回答数	割合
1 通勤	44	40.4%
2 通学	6	5.5%
3 通院	15	13.8%
4 買い物	12	11.0%
5 業務	3	2.8%
6 レジャー	6	5.5%
7 その他	16	14.7%
不明・無回答	7	6.4%
合計	109	100.0%

図 お出かけの主な目的

### 4. おでかけ先の住所

○お出かけ先の住所は、「その他」を除くと「木津川市」が20.2%で最も多く、次いで「南山城村」(16.5%)となっている。また、「その他」の内訳は大阪(17件)、奈良(14件)、京都(6件)、伊賀市(1件)である。

#### ■住所



おでかけ先住所	回答数	割合
1 笠置町	10	9.2%
2 南山城村	18	16.5%
3 和束町	1	0.9%
4 木津川市	22	20.2%
5 その他	38	34.9%
不明・無回答	20	18.3%
合計	109	100.0%

図 お出かけ先の住所

5. 現在の状況（1つに○）

○現在の状況は、「行く途中」が52.3%で、「帰る途中」をやや上回っている。

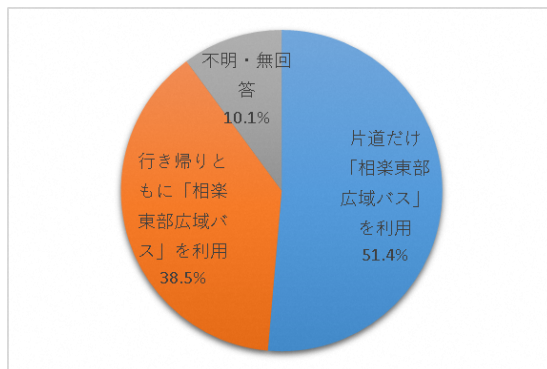


現在の状況	回答数	割合
1 その「おでかけ先」へ行く途中	57	52.3%
2 帰る途中	52	47.7%
不明・無回答	0	0.0%
合計	109	100.0%

図 現在の状況

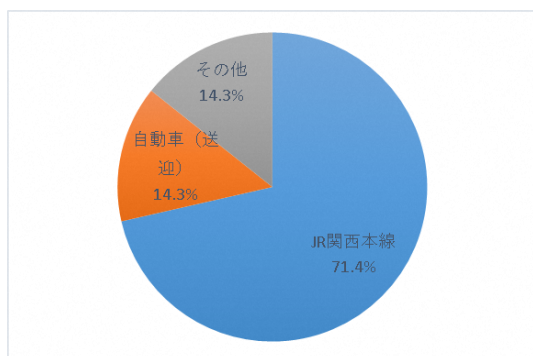
6. 行き・帰りの交通手段（1つに○）

○行き・帰りの交通手段は、51.4%が「片道だけ相楽東部広域バスを利用」と回答している。また、片道だけ相楽東部広域バスを利用する場合のもう一方の交通手段は、「JR関西本線」が7割を占めている。



行き帰りの交通手段	回答数	割合
1 片道だけ「相楽東部広域バス」を利用	56	51.4%
2 行き帰りともに「相楽東部広域バス」を利用	42	38.5%
不明・無回答	11	10.1%
合計	109	100.0%

図 行き・帰りの交通手段



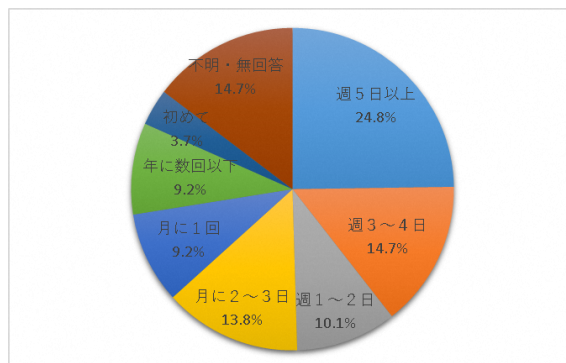
もう一方の交通手段	回答数	割合
1 JR関西本線	40	71.4%
2 自動車（送迎）	8	14.3%
3 その他	8	14.3%
合計	56	100.0%

図 相楽東部広域バスを片道だけ利用する場合のもう一方の交通手段

## Ⅱ 普段の「相楽東部広域バス」のご利用について

### 1. 利用の回数（1つに○）

○利用の回数は、「週5日以上」が24.8%で最も多く、次いで「週に3～4日」が14.7%、「月に2～3日」が13.8%となっている。

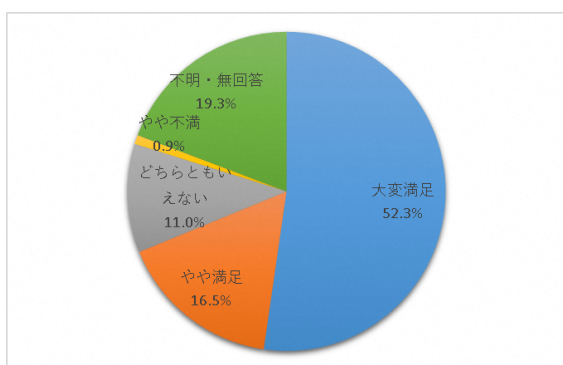


利用の回数	回答数	割合
1 週5日以上	27	24.8%
2 週3～4日	16	14.7%
3 週1～2日	11	10.1%
4 月に2～3日	15	13.8%
5 月に1回	10	9.2%
6 年に数回以下	10	9.2%
7 初めて	4	3.7%
不明・無回答	16	14.7%
合計	109	100.0%

図 相楽東部広域バスの利用の回数

### 2. 満足度（1つに○）

○満足度は、「大変満足」（52.3%）と「やや満足」（16.3%）を合わせて6割以上の人が「満足」と回答している。



満足度	回答数	割合
1 大変満足	57	52.3%
2 やや満足	18	16.5%
3 どちらともいえない	12	11.0%
4 やや不満	1	0.9%
5 不満	0	0.0%
不明・無回答	21	19.3%
合計	109	100.0%

図 相楽東部広域バスの満足度

**3. 要望点（あてはまるものすべてに○）**

○要望点は、「その他」43件（49.4%）で最も多く、うち早朝夕方便の減便に係る維持要望が20件となっている。※具体的な記述内容は後述。

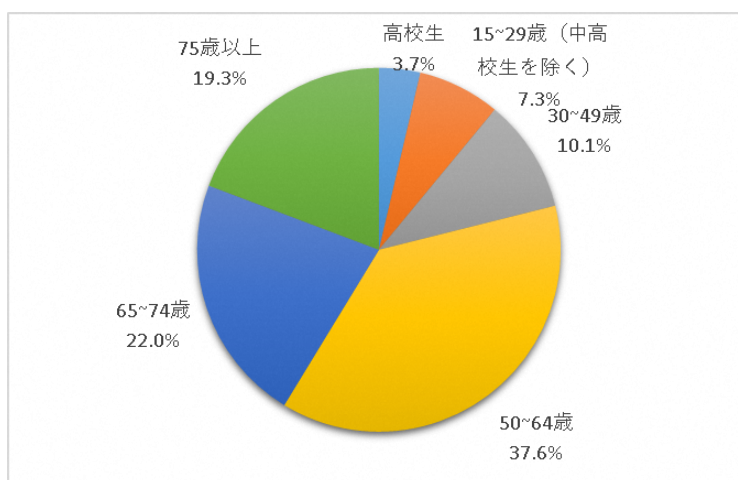
要望点	回答数	割合
1. バス停を増やしてほしい・変えてほしい	8	9.2%
2. 運行時刻を変えてほしい	8	9.2%
3. その他	43	49.4%
4. 特になし	28	32.2%
合計	87	100.0%

図 相楽東部広域バスの要望点

**Ⅲ あなた自身について**

**1. 年齢（1つに○）**

○利用者の年齢は、「50歳～64歳」が37.6%で最も多く、次いで「65～74歳」（22.0%）となっている。

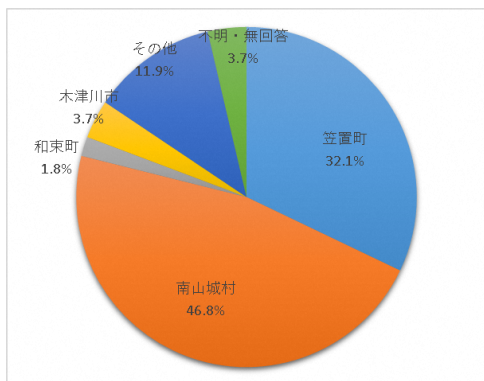


年齢	回答数	割合
1 小学生	0	0.0%
2 中学生	0	0.0%
3 高校生	4	3.7%
4 15～29歳（中高 校生を除く）	8	7.3%
5 30～49歳	11	10.1%
6 50～64歳	41	37.6%
7 65～74歳	24	22.0%
8 75歳以上	21	19.3%
不明・無回答	0	0.0%
合計	109	100.0%

図 利用者の年齢

## 2. お住まい (1つに〇)

○利用者の居住地は、「南山城村」が46.8%で最も多く、次いで「笠置町」(32.1%)となっている。「その他」(11.9%)の内訳は、奈良(9件)、大阪(4件)となっている。

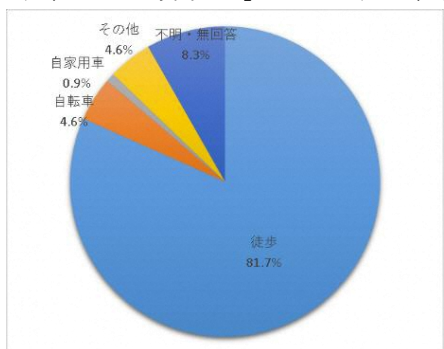


お住まい	回答数	割合
1 笠置町	35	32.1%
2 南山城村	51	46.8%
3 和束町	2	1.8%
4 木津川市	4	3.7%
5 その他	13	11.9%
不明・無回答	4	3.7%
合計	109	100.0%

図 利用者の居住地

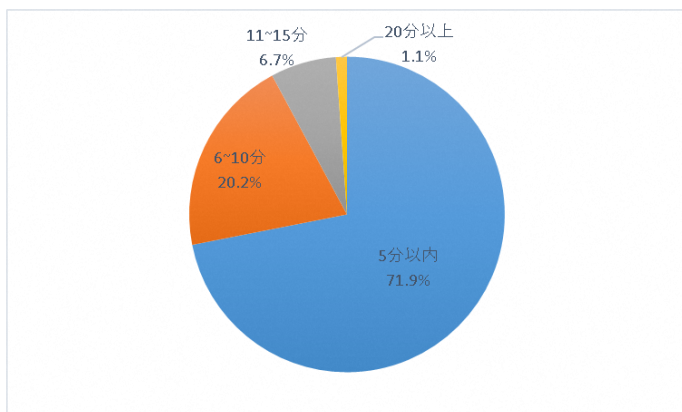
## 3. 自宅からバス停までの移動手段 (1つに〇)

○自宅からの移動手段は、「徒歩」が8割以上を占めている。また、徒歩での所要時間は「5分以内」が71.9%、「6～10分以内」が20.2%で、徒歩10分圏内が9割以上となっている。



自宅からバス停までの移動手段	回答数	割合
1 徒歩	89	81.7%
2 自転車	5	4.6%
3 自家用車	1	0.9%
4 その他	5	4.6%
不明・無回答	9	8.3%
合計	109	100.0%

図 自宅からバス停までの移動手段



所要時間	回答数	割合
1 5分以内	64	71.9%
2 6～10分	18	20.2%
3 11～15分	6	6.7%
4 20分以上	1	1.1%
不明・無回答	0	0.0%
合計	89	100.0%

図 移動手段が徒歩の場合の所要時間

※Ⅱ-3. 相楽東部バスに関する要望点（具体的記述）

表 相楽東部広域バスに関する要望

具体的に（自由記述）	
運行時間を早朝は今のままで、夜間は増やしてほしい。	バス停変えてほしい（大手橋）
できれば遅い便も増やしてほしい	最終便を残すが復活させるかしてほしい。
朝夕は増便してほしい	早朝は継続して、夜間は増便してほしい。
夜は今より遅い便を運行してほしい	朝の便がなくなるのはつらい。
朝早い便があるほうが良い。	便数を増やしてほしい
バス降りるときに右手側に取っ手を付けてほしい。	運行時刻を変えてほしい
本数を増やしてほしい	木津駅まで
バス停変えてほしい（笠置大橋南詰）	夜便が欲しい
早朝と夜を増便してほしい	笠置駅から有市峠坂まで歩く時間があるので、夕方便を残してほしい。
最終便をもう一つ後ろにほしい	関西線との接続が悪く、バスのほうが便利で早いので夕方便の時間を維持してほしい。
本数を増やしてほしい	土日の必要性を感じない。平日メインで支えてほしい。
早朝便が無くなると不便、通えない	早朝と夜を増便
早朝便が便利で利用していたのに無くなるととても不便、ヘビ－ユーザーからすれば復活して欲しい	時刻ダイヤの変更因る
早朝便無くないでほしい	朝の便は残してほしい
早朝便が無くなるのはとても困る	朝便なくなると困る。娘に送迎してもらうことになる
コムバスはダイヤが不便、早朝便がなくなるのは大変困る。	加茂駅発 1 時台を増やして下さい。
最終便があれば家に30分早く帰れた、無くなると不便	月ヶ瀬NTガスのバス停途中に増やしてください。
早朝便無くなるのは知らなかった、便利なので減便や無くなるのは困る	月ヶ瀬NTにバス停を増やしてください。
最終便を利用すると関西線より30分早く帰れる（関西線接続の無い加茂行きから接続）	足が悪いので自由乗り降りしてください。
3 便で出勤して、最終便で帰宅している。最終便が無くなると大変不便、通勤スタイルが変わる	20人ぐらい乗れるバスにしてほしい。（定員オーバーの時乗れなかった）
最終便の後もう一本あれば、もっと便利になると思っている	ダイヤ少なくなるのは特に問題なし。
関西線は夜少ないので、その間を縫って走るダイヤになると手段が増えて便利になる	月ヶ瀬NT途中にバス停を作ってほしい。
7:00台や夕方頃（17～18時頃）にバスがあると便利	月ヶ瀬NTの町内 1 組～ 8 組まで回ってほしい。
父も毎日6:00の早朝便を利用しており、自分も夕方で帰宅することがあるので減便は非常に不便である	増便してほしい
行きは時間が合わないため鉄道利用	足が悪いのでオレンジの家で降りてほしい。（帰りは大河原から村タクに乗ることもある）
6 便には少し間に合わない時間にいつも帰宅するので、ダイヤ見直しがあると助かる	月ヶ瀬NTの町内 1 組～ 8 組まで回ってほしい。
減便については本日知ったが、朝夕便がなくなれば、コミュニティバスを利用することになりそうだ	バスチケットを作ってほしい（100円玉が足りなくなる）
早朝、夜間のバスを増便してほしい。	夕方便は残してほしい。
遅い時間に運行してほしい	夕方便を残してほしい（来春からは再雇用で毎日乗る予定だった）
夜 2 時 3 0 分ごろに加茂駅発があると助かる	時間が 1 1 時台～ 1 4 時台までないので 1 便増やしてほしい（加茂駅行）
行先が多すぎる。所要時間がかかり過ぎる	増便してほしい
利用の居ないバス停をやめてスピードアップ	運行時刻を変えてほしい
満車の場合のため、予備に 1 台付けてほしい	時刻表が分かりにくい
座席数を増やしてほしい	木津まで行ってほしい
バス停変えてほしい（笠置大橋南詰）	キャンプ場に行く人も多いため、荷物をスムーズに載せたい



方針② 高校生・高齢者を主なターゲットに、自家用車に頼らなくても、通学・通勤・買い物・通院ができ、「健幸」に暮らせる地域を目指す

施策②-4,5 相楽東部広域バスの運行展開、地域内交通の加茂駅、木津駅への乗入れ

**目的**  
 運行本数が少なく、駅のバリアフリー化が進んでいないJR関西本線（加茂以東）を補完し、地域内の連携を支える公共交通として機能する相楽東部広域バスについて、多様な世代をターゲットにさらなる運行の効率化や利便性向上を図る。これにより、公共交通としての持続性を高め、高齢者等の外出機会の拡大や交流人口の拡大、利用者数の増加による行政負担の抑制を図る。

**取組内容**  
**（現状）**  
 相楽東部広域バスは、前計画に基づく施策として平成29年に運行が開始され、令和2年にはコロナ禍であったが過去最高の利用者数を記録するなど、地域に定着しつつあるものの、利用者数は1.1人/便と少なく、行政負担の増加も課題となっている。なお、運行による経常赤字が発生しており、国の地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用している。



[相楽東部広域バス]

**（取組）**  
 路線維持にあたり、運行、車両購入等に対する国の地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）をはじめとした補助金を効果的に活用することで、町村負担の縮減を図る。

また、利用者が著しく減少、または利用実績のないバス停について、他の地域内交通サービスと連携した上で廃止を検討する。これにより、運行時間の短縮または利用が見込まれる区間へのバス停の開設やJR木津駅への延伸等を検討し、バスのサービス水準を高める。

あわせて隣接自治体や主要施設とも連携し、高齢者をはじめとした地域内の多様な世代へ情報発信を強化し、利用拡大を図る。

なお、今後の運行継続については、行政負担の状況や他の地域公共交通サービスの整備状況を踏まえ、運行事業者との契約更新を目的に、関係者間で協議を進める。

**（対象路線）**

- ・相楽東部広域バス（JR加茂駅～JR月ヶ瀬口駅）

実施主体	R4	R5	R6	R7	R8
本協議会	●	→	→	→	→
笠置町 和東町 南山城村	●	→	→	→	→
運行事業者 (株)キタモリ	●	→	→	→	→
備考	▲ 運行事業者との契約期限(R5年9月末)				

## 資料4 議題第4号

## 令和5年度 JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会補正予算（第1号）（案）

歳入

（単位：円）

款 項 目	補正前の額	補正額	計	摘 要
1分担金及び負担金	3,272,000	0	3,272,000	
2負担金	3,272,000	0	3,272,000	
2負担金	3,272,000	0	3,272,000	
2行政支出金	2,847,000	0	2,847,000	
1補助金	2,847,000	0	2,847,000	
1国庫補助金	2,847,000	0	2,847,000	
2地方公共団体補助金	0	0	0	
3繰越金	13,778,353	0	13,778,353	
1繰越金	13,778,353	0	13,778,353	
1繰越金	13,778,353	0	13,778,353	
4諸収入	0	0	0	
1雑収入	0	0	0	
1雑収入	0	0	0	
計	19,897,353	0	19,897,353	

歳出

（単位：円）

款 項 目	補正前の額	補正額	計	摘 要
1運営費	160,000	0	160,000	
1会議費	160,000	0	160,000	
1会議費	160,000	0	160,000	
2事業費	9,693,000	314,000	10,007,000	
2事業費	9,693,000	314,000	10,007,000	
1事業費	9,693,000	314,000	10,007,000	相楽東部広域バス運行経費 314,000円 【計算式】 2,519,000円（4月～9月までの執行額）+3,109,000円 （10月～3月の執行見込み額）-5,314,000円（当初予 算計上の年間契約額）=314,000円（千円未満切り上 げ）
3予備費	10,044,353	△ 314,000	9,730,353	
1予備費	10,044,353	△ 314,000	9,730,353	
1予備費	10,044,353	△ 314,000	9,730,353	
計	19,897,353	0	19,897,353	